

# 国立民族共生公園 「体験交流ホール」の概要

## 外観イメージ

- ステージ及びホールを中心に広がる「交流の輪」をイメージした円形のデザイン
- 色彩は、ポロト周辺景観の四季による様々な変化にも受け込むグレー系

## 鳥瞰イメージ



## 体験学習館側より望む

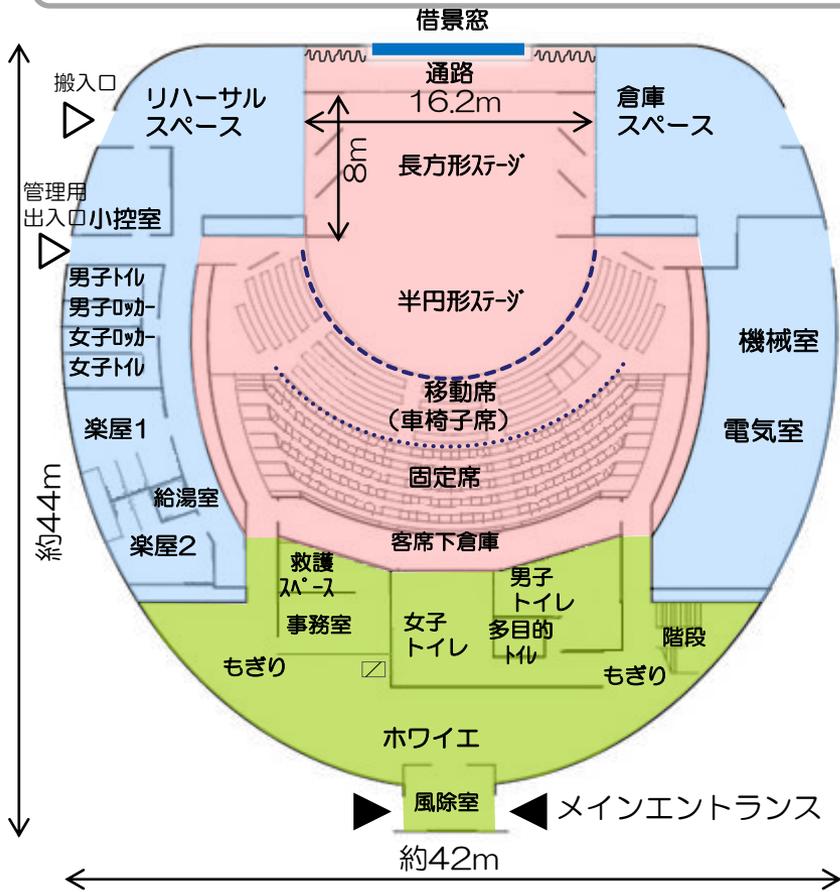


# 国立民族共生公園 「体験交流ホール」の概要

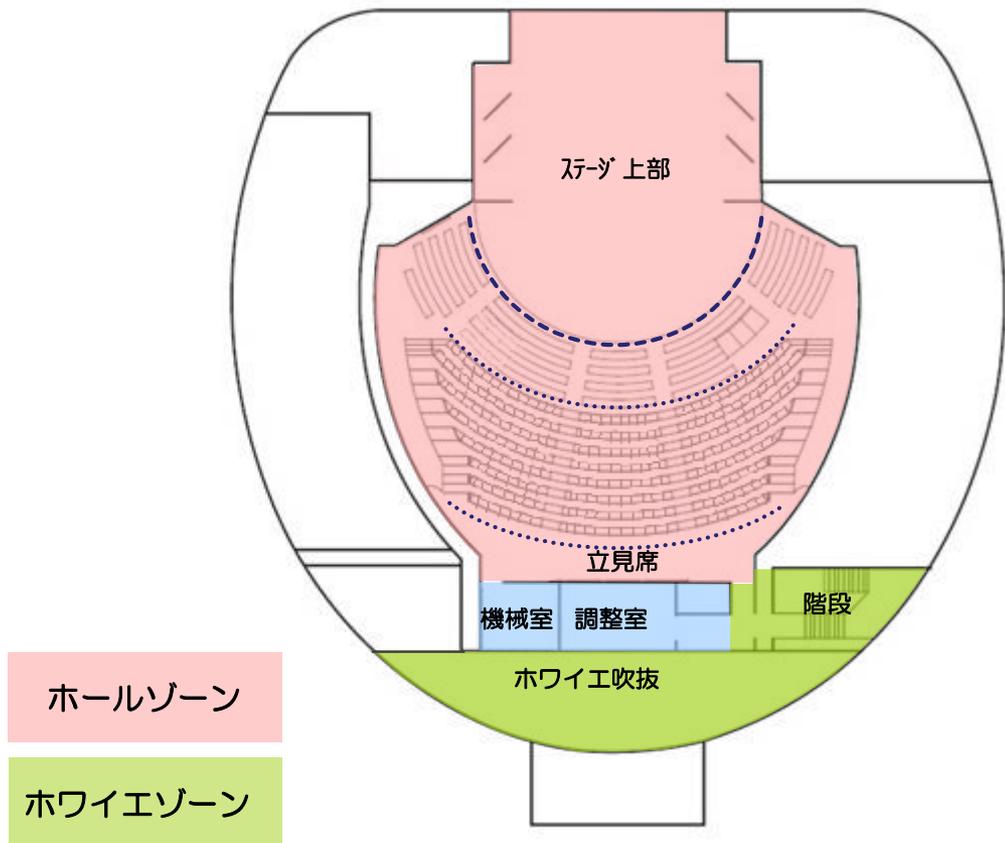
## 平面図

○客席は多目的利用を可能とするため、固定席(背もたれ及び肘掛け有り)、移動席(背もたれ及び肘掛けなし)及び立見席による構成とし、演者と観客の距離感ができる限り近くなるように計画

○ステージにコタン及びポロト湖畔を望む借景窓



1階平面図



- ホールゾーン
- ホワイエゾーン
- 管理・運営ゾーン

2階平面図

※現在の案であり、設計の進捗に伴い変更の可能性がある。

# 国立民族共生公園 「体験交流ホール」の概要

## ホール内観イメージ

○公演を通じて演舞者と観客とが「顔の見える交流」をすることができ、一体感を感じられる空間



※現在の案であり、設計の進捗に伴い変更の可能性がある。

# 国立民族共生公園 「エントランス棟」の概要

## 外観イメージ

- 国内外の多様な人々との「共生」と「連携」の和を表現する円形広場を囲むデザイン
- 「アイヌ文化を体感」できるよう、ウツナイ・ポロト・伝統的コタンを望める大きなガラススクリーンをもつ外観
- 色彩は、民族共生の象徴をシンボリックに表現し、入口への誘導性が高く、自然の移ろいを映す白色系

## ロータリーからエントランスを望む



## ガイダンス室内観イメージ



## エントランス広場内部から建物を望む



## ウツナイからエントランスを望む



※現在の案であり、設計の進捗に伴い変更の可能性はある。

# 国立民族共生公園 「体験学習館」の概要

## 外観イメージ

- 周辺の山並みに溶け込む、緩やかな勾配屋根と、柔らかな曲線の屋根・庇形状を採用
- ハイサイドライトにより、自然光・風を採り入れ、室内でも自然を感じられる空間の提供
- 芝生広場を一望することができ、外部空間との一体感と広場への誘導性を高めるガラススクリーンを持つ外観
- 色彩は、ポロトや周辺の自然の移ろいにも溶け込むグレー系

## 体験学習館出入口周囲からの近景



※現在の案であり、設計の進捗に伴い変更の可能性がある。

## 試食体験(イメージ)

# 国立民族共生公園 「工房」の概要

## 外観イメージ

- 伝統的コタンの建物形状を踏まえたシンプルな勾配屋根
- 伝統的コタンからつながる、プ(倉)をモチーフとした木調ルーバー
- 色彩は、伝統的な生活の風景を引き立て、落ち着いた雰囲気となるグレー系

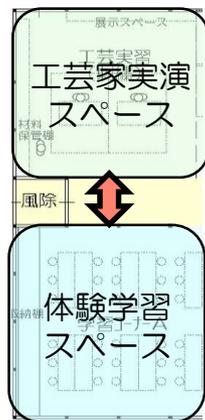
## エントランス側から工房を望む



## 内観コンセプト

○工芸家実演スペースと体験学習スペースをオープンにし、「顔の見える交流、触れ合い」の出来る空間

○屋内外の工芸家実演スペースにつながりを持たせ、伝統工芸に適し、「新たな創造に資する」環境を整備



※現在の案であり、設計の進捗に伴い変更の可能性がある。

## チキサニ広場イメージ

- ・来園者を伝統的な衣装や踊りで歓迎するおもてなしの広場
- ・博物館のオープンテラスから、多くの人々が接することで「見る・見られる」関係による賑わいを形成



## 人道橋イメージ

- ・ウツナイ川にかかる橋、ボックスカルバートは、景観に配慮した形式

